

ACCESS MAP



※職員寮は2棟あり、月額22,000円で利用が可能です。

令和9年度 初期臨床研修医募集要項

Aプログラム
当院2年 8名

1.募集定員
Bプログラム
1年次 当院/
2年次 京都大学医学部附属病院 2名

Cプログラム
1年次 京都大学医学部附属病院/
2年次 当院 2名

2.応募資格
令和8年度医師国家試験受験予定者
医師臨床研修マッチング協議会の
研修医マッチングに参加する者

3.出願書類
①願書・採用申請書
(指定用紙は当院HPよりダウンロード可能)
②成績証明書
③自己推薦書(A4用紙に志望理由、自己PR等)

4.出願方法
3の出願書類を
「福井赤十字病院 教育研修推進課 医師臨床研修担当」
宛に簡易書留にて郵送してください。

5.選考方法
書類選考、面接

6.病院見学
随時受け付けています。
希望の日時と見学内容(見学希望診療科・内容など)を
ご連絡ください。
また病院ホームページ「採用情報」からも申込が可能です。
【連絡先】
教育研修推進課 医師臨床研修担当
TEL 0776-36-3630(代)
E-mail kensyu@fukui-med.jrc.or.jp
HP https://www.fukui-med.jrc.or.jp/

糺がある。



初期臨床研修医募集のご案内

ステージがある。

輝かしい未来への第一歩を踏み出す

研修医のみなさんへ。

熱き理想に向かって、実り多い研修とするために、

当院の理念・基本方針に基づいた

様々なステージを用意しています。



病院概要

About
Japanese Red Cross
Fukui Hospital



理念

人道・博愛の精神のもと、県民が求める優れた医療を行います。

基本方針

- 患者さんの権利と意思を尊重し、協働して医療を行います。
- 安全と質を向上させ、優しい医療を行います。
- 人間性豊かで専門性を兼ね備えた医療人を育成します。
- 急性期医療・疾病予防・災害時医療に積極的に取り組みます。
- 保健・医療・福祉と連携し、地域社会に貢献します。

病院概要

病院名 福井赤十字病院

所在地 〒918-8501 福井県福井市月見2丁目4番1号

TEL 0776-36-3630(代) FAX 0776-36-4133

開設年月日 大正14年4月1日

病院長 小松 和人

許可病床数 477床

診療科 代謝・内分泌内科、精神科、脳神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、血液内科、腎臓内科/リウマチ・膠原病内科、総合診療科から選択。
腫瘍内科、腎臓内科/リウマチ・膠原病内科、小児科、緩和ケア内科、消化器外科、乳腺外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、病理診断科、麻酔科、救急科、歯科、歯科口腔外科、臨床検査科

職員数 1,135名(令和8年1月1日)

日本医療機能評価機構による病院機能評価認定病院

地域がん診療連携拠点病院

地域医療支援病院

地域周産期母子医療センター

地域災害拠点病院

原子力災害拠点病院

一次脳卒中センター(PSCコア施設)

第二次救急指定病院

福井県ドクターヘリ受入病院



プログラム責任者メッセージ

Responsible Person Message

赤十字の理念のもと、輝かしい未来のために。

当院は、赤十字の理念に基づき、地域の中核病院として質の高い急性期医療と災害時の救護活動の実践に努めています。当院では院内各科医師によるミニ講義を行い、知識向上とともに上級医との交流の機会としています。また、薬剤師や臨床検査技師などによる講義や新規採用者宿泊研修もあり、他職種とも顔馴染みになることができます。こうしたことがアットホームな研修環境を作り、協働するチーム医療につながると私達は考えています。まずは病院見学に、そして卒後臨床研修にお越しください。

福井赤十字病院
副院長・プログラム責任者
高野 誠一郎
SEIICHIRO TAKANO



臨床研修プログラム

Clinical Training Program

福井赤十字病院群卒後臨床研修プログラム

福井赤十字病院2年

2年間を福井赤十字病院で研修します。1年目は、必修科目の「内科系24週間」、「救急部門12週間」、「麻酔科4週間」、「外科系4週間」および選択科目の研修を行います。2年目は、必修科目の「小児科4週間」、「産婦人科4週間」、「精神科4週間」、「地域医療4週間」、「保健医療行政2週間」および選択科目の研修を行います。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科系 (24週) ※4月オリエンテーション含む				救急 (12週)			麻酔科 (4週)	外科系 (4週)	選択		
2年目	小児科 (4週)	産婦人科 (4週)	精神科 (4週)	地域医療 (4週)	保健医療行政 (2週)							

※内科系24週とは、代謝・内分泌内科、脳神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、血液内科、腎臓内科/リウマチ・膠原病内科、総合診療科から選択。

※外科系4週とは、消化器外科、脳神経外科、呼吸器外科、泌尿器科から選択。

※精神科4週とは、松原病院、福仁会病院、福井厚生病院または福井大学医学部附属病院の内、1施設で研修。

※地域医療4週とは、織田病院、若狭高浜病院、今庄診療所、池田町診療所の内、1施設で研修。

※保健医療行政2週とは、福井市保健所または丹南健康福祉センター(1週)、福井県赤十字血液センター(1週)にて研修。

※選択とは、代謝・内分泌内科、脳神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、血液内科、腎臓内科/リウマチ・膠原病内科、小児科、消化器外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線診断科、放射線治療科、病理診断科、麻酔科、救急科、整形外科、心臓血管外科の中から選択して研修。

※希望により第三次救急の日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院、もしくは、京都第一赤十字病院で4週間の研修が可能。

Program

1年目 福井赤十字病院 / 2年目 京都大学医学部附属病院

1年目の研修は福井赤十字病院のAプログラムに沿って行き、2年目の研修は京都大学医学部附属病院の研修プログラムに沿って行います。

Program

1年目 京都大学医学部附属病院 / 2年目 福井赤十字病院

1年目の研修は京都大学医学部附属病院の研修プログラムに沿って行き、2年目は福井赤十字病院のAプログラムに沿って行います。

RESIDENT PROGRAM FEATURES プログラムの特徴

01 豊富な症例

福井・坂井医療圏の中核病院であり、日常診療で遭遇する病気から、高度な治療を要する重症・難治性疾患まで様々な症例を経験できます。実際にたくさんの症例を経験することができます、あなたを成長させ、選択肢の多い研修を繰り返すことで、自分にあったキャリアを見つけることができます。当院は、バランスよく様々な経験を積むのに、最適な場所です。

02 充実した指導

各科において専門医が揃っており、きめ細かい指導を受けることのできる体制と、診療科の枠を超えた全病院の指導体制を築いています。バックアップする上級医が多く在籍しているので、常に自己判断ではなく上級医と相談して診療しています。幅広く研修したい人にも、深く研修したいという人にも有意義な仕組みになっています。

03 自由度の高いプログラム

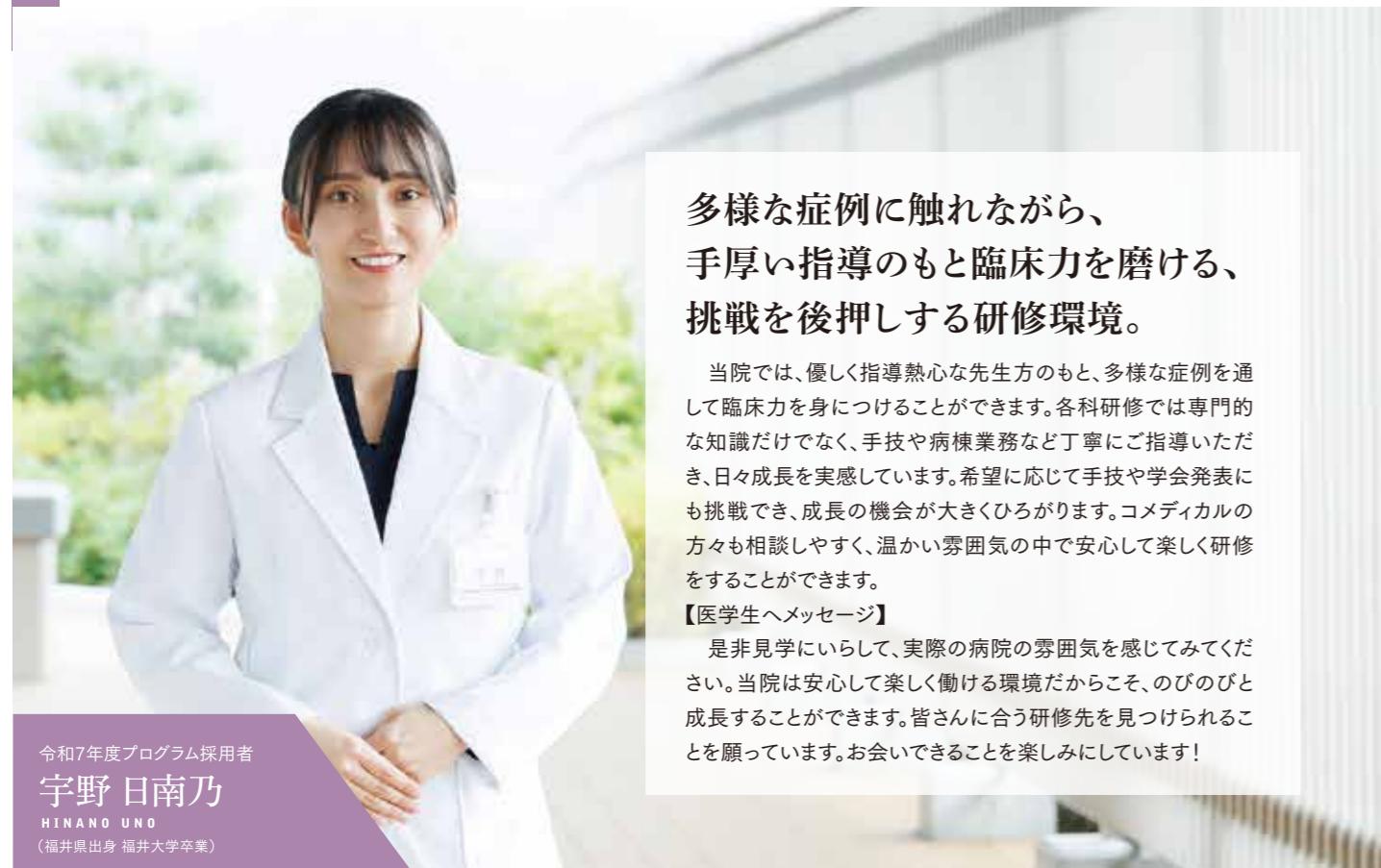
研修医に必要な診療科を効率よく研修することができます。広い臨床能力の習得を目指しますが、選択期間が30~34週あり、専門研修で自分の目指す専門科への移行も容易です。研修医各自の希望を最大限に活かせるようにした、自由度の高いプログラムです。

仲間がいる。

大きく近づく医師への道。ともに成長したいという熱意をもった
たくさんの仲間があなたを待っています。

研修医紹介

Medical Intern Introduction



多様な症例に触れながら、 手厚い指導のもと臨床力を磨ける、 挑戦を後押しする研修環境。

当院では、優しく指導熱心な先生方のもと、多様な症例を通して臨床力を身につけることができます。各科研修では専門的な知識だけでなく、手技や病棟業務など丁寧にご指導いただき、日々成長を実感しています。希望に応じて手技や学会発表にも挑戦でき、成長の機会が大きくなりがります。コメディカルの方々も相談しやすく、温かい雰囲気の中で安心して楽しく研修をすることができます。

【医学生へメッセージ】

是非見学にいらして、実際の病院の雰囲気を感じてみてください。当院は安心して楽しく働ける環境だからこそ、のびのびと成長することができます。皆さんに合う研修先を見つけることを願っています。お会いできることを楽しみにしています！

令和7年度プログラム採用者
宇野 日南乃
HINANO UNO
(福井県出身 福井大学卒業)



基礎から専門まで幅広く学び、 安心の指導体制で 自分らしく力を伸ばせる。

当院の研修では、基礎的な診療から救急、各専門分野まで、幅広い経験を無理なく積むことができます。指導医やスタッフも話しやすく、日々の疑問を気軽に相談できる安心感があります。さらに、自分の興味やベースに合わせて研修内容を調整できるため、焦らずしっかり学べるのも魅力です。落ち着いた環境の中で、着実に成長していく研修です。

【医学生メッセージ】

他病院とのたすきも含め、さまざまな背景を持つ仲間が集まり、互いに刺激し合いながら成長できる充実した研修環境です。困ったときは支え合い、学ぶときは全力で学べる雰囲気があります。ぜひ当院で、一緒に楽しく実りある研修生活を送りましょう。

令和7年度プログラム採用者
深見 拓矢
TAKUYA FUKAMI
(京都府出身 福井大学卒業)

1日のスケジュール

Daily Schedule

研修科：消化器内科

START

病棟業務

患者さんの状態をカルテや診察で確認するところから一日が始まります。



回診

指導医と担当患者さんの回診を行います。患者さんの状態に応じて今後の検査や治療の方針を立てていきます。



GOAL

カンファレンス

新規入院患者さんについて、今後の治療方針を消化器内科の医師全員で検討します。研修医も必ず担当患者さんのプレゼンを行うことになっているので、入念に準備をして臨みます。



消化器内視鏡検査、ERCP・ESDなど

午前は基本的に外来患者さんや入院患者さんの上部消化管内視鏡検査の見学を行い、午後は下部消化管内視鏡検査やERCP・ESDなどの見学を行います。また、時間を見つけて上級医のもとでモデルによる練習を行い、基本的操作を習得します。

症例についての指導

上級医から担当症例の治療について指導を受け、検査や内服薬の指示を出します。



指導医からのメッセージ

積極的に診療・治療に参加し、楽しみながら多くのことを学んでいたと思います。今後もいろいろな診療科をローテートする中で、さまざまな視点からの考え方や対応を学び、自分の目指すところを見つけてください。

1日のスケジュール

Daily Schedule

研修科：麻酔科

START

麻酔準備

毎朝、カンファレンスの前に手術で使用する麻酔器や麻酔薬、気管チューブ・喉頭鏡などの準備をします。



マンツーマン指導

モニターの理解、血液一般、生化学、動脈血ガス分析、心電図のデータ解釈についてなど、経験豊富な指導医がマンツーマンで指導してくれます。



麻酔科カンファレンス

当日の手術の麻酔方法やリスク、分担などを麻酔科医師と話し合い、確認します。



ICUカンファレンス

重症者や術後監視が必要な患者さんは集中治療室に入室となるので、麻酔科医師と看護師、リハビリスタッフで患者さんの経過や手術予定者について話し合います。

麻酔導入＆手術

モニターの装着・末梢静脈路の確保します。その後は手術に応じて、気管内挿管などを行って、麻酔導入します。手術中はモニターや術野、患者さんの様子を注意深く観察して、安全に手術を行えるように麻酔薬や輸液を調節します。



術前診察

手術予定者の病棟へ行き、既往歴やアレルギーなどの問診を行います。

GOAL

カルテ確認＆帰宅

手術予定者の術前カルテを記入します。術前診察で必要な血液検査や心エコー、呼吸機能検査、X線検査などの術前検査の結果を確認して帰宅します。



指導医からのメッセージ

麻酔に興味を持ち、積極的に研修に取り組んでいました。麻酔中の変化にも対応できるようになり、成長を感じられました。研修医としての経験は今後の診療に大いに役立ちます。今後も研鑽を重ねていってください。

成長を支える。

技術だけでなく、心と心の繋がりを大切に。必要時の相談はもちろん、自らが考え実践できるように、若手・中堅医師たちが集う「研修医養成プロジェクトチーム」があなたをしっかりとサポートします。

指導医メッセージ

Message From The Instructor

適切な状況判断と対応。
救急医療で養う総合力。

救急科
嶋田 喜充
YOSHIMITSU SHIMADA

福井赤十字病院の救急医療はER型救急です。救急車やwalk-in患者を研修医が救急科専門医とともに初期対応にあたり、入院か帰宅、外来通院かを判断します。入院が必要な場合は各診療科にコンサルトします。

心肺停止から上気道炎、多発外傷、軽症から重症まで、各診療科の協力のもと受け入れています。外傷以外の小児は小児科が対応します。患者さんの多くは軽症・中等症ですが、重症ばかりが救急ではなく、一見軽症に見える疾患のなかに潜んでいる緊急救度や重症度の高い疾患を見逃さないようにするのも救急です。同じ疾患でも発症パターンが違うこともあり、数多くの症例を経験することも重要です。

また、救急外来を受診する高齢者も増え、ひとつの傷病のみを持つことは少なく、多岐にわたる問題を総合診療科的に評価する必要があります。

このような考え方のもと、診療科を問わず、幅広く診療することを目標に救急研修を行なっています。

どの診療科においても急変は起こります。自分の診療科疾患で入院しても別の疾患が生じることもあります。そのような時に専門外であっても、専門医が来るまで対応できるように、指導・サポートします。



研修医養成プロジェクトチーム指導医メッセージ

経験を共有することで高まる
総合的・全人的な診断力。

研修医養成プロジェクトチーム 内科系
循環器内科
皿澤 克彦
KATSUHIKO SARAZAWA



他職種と連携し育む
知識と技術と人間力。

研修医養成プロジェクトチーム 外科系
消化器外科
吉羽 秀磨
HIDEMARO YOSHIBA



患者さんを最善な方向に導くこと、それは医師一人でできる事ではなく、病院内の様々な専門職員とのチームワーク、さらには地域の社会資源との連携によって実現されます。自分が困った時、周りには相談できる人がたくさんいます。多くの患者さん、医療スタッフとの出会いの中で、医師としての基礎的な知識・技術を身に付けることはもちろん、社会人、そして医療チームの一員としての振る舞い方を学んでいけるよう、支えます。

修了者の声

Voice Of Graduates

個々の希望に合わせた柔軟な対応と多様な症例を通じて医療としての基礎力を養う研修プログラム。

当院は2次救急指定病院なので、common diseaseを中心に様々な症例を経験できます。医師1年目の時期によく出会う疾患の患者さんをたくさん診ることができ、医師としての基礎力が身についたと実感しています。自分のペースで研修したい人にはもちろん、ガンガン積極的に研修したい人にも、上級医は熱心かつ丁寧に指導してくれます。また、研修医の希望に合わせてローテートを柔軟に組んでもらえるので、将来を見据えた研修ができます。

医学生へメッセージ

福井赤十字病院の職員はみなさん優しくて温かく、研修医のことを気にかけてくださいます。そのため医師をスタートさせる場所としては最適だと思います。ぜひ一度見学に来て、雰囲気を実感していただけたらと思います。



令和5年度修了者
藤井省吾
SHOGO FUJII

専門研修プログラム（後期臨床研修）について

- 「内科」と「総合診療科」と「麻酔科」の3つの領域で、当院が基幹施設となるプログラムを設けています。
- 基本の15領域では、県内外の病院を基幹施設とする各専門研修プログラムに連携施設として登録しています。
- 症例数・指導医とも豊富であり充実した研修が可能です。

福井赤十字病院専門研修プログラム連携施設一覧

福井赤十字病院専門研修プログラム連携施設一覧	県 内								県 外													
	福井県立病院	市立敦賀病院	公立小浜病院	公立丹南病院	中村病院	福井厚生病院	福井循環器病院	教育医療センター	嶋田病院	林病院	京都大学医学部附属病院	京都第一赤十字病院	京都第二赤十字病院	金沢大学附属病院	北野病院	住友病院	高槻赤十字病院	倉敷中央病院	滋賀県立総合病院	天理よろづ相談所病院	大津赤十字病院	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院
内科	● ●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
総合診療科	●													● ●							●	
麻酔科	●		●																			

3つの科のポイント

【内科】

当院は、急性期の患者さんの診療を重点的に行っています。患者さんはcommon diseaseの方がが多いですが、一般的な疾患から急性期まで最先端の治療を学ぶことが出来ます。連携医から紹介を受け、急性期治療をしましたとの生活に戻る、この地域包括ケアシステムを通じて、患者さんの人生を考えた医療を学ぶことが出来ます。

また、脳神経センターや、消化器センター、呼吸器センター、腎センターなど、センター化を行っており、内科疾患のみならず、外科的治療が適応となる患者さんの診療も学ぶことが出来ます。

また、県内12施設、および県外11施設が連携施設となっており、大学病院や都市部の大病院での研修、および地域医療研修が可能です。専攻医の先生方の、いろいろな可能性が広がっていくと考えています。

【総合診療科】

総合診療専門研修Ⅰ（外来診療・在宅医療中心）、総合診療専門研修Ⅱ（病棟診療、救急診療中心）、内科、小児科、救急科の5つの必須診療科と選択診療科で3年間研修を行います。超高齢社会を反映し、複数の病態を持った患者さんの診療を経験でき、高次病院や地域病院との病病連携や診療所との病診連携も経験できます。

【麻酔科】

福井県の中核病院で麻酔、集中治療、ペインクリニック、救急医療の経験、知識、技術の習得を目指し、地域医療に貢献してみませんか？災害医療にも力をいれています。



内科専攻医
竹部 万由
MAYU TAKEBE

私は当院で初期研修を行い、当院の内科専門研修プログラムを選択し令和5年度より消化器内科に勤務しています。



当院を選んだ理由は、まず雰囲気の良さです。各診療科の垣根がないため、専門医へコンサルトしやすく、看護師・コメディカルの方々も気さくに接してくれる、アットホームな雰囲気の中で楽しく研修できています。また、当院は福井県の奨学金指定医療機関との連携があることも大きなポイントでした。症例数・指導医数ともに充実しており、医師としてのスキルアップの場として大変良い環境です。

色がある。

当院の特色を活かした、様々な研修が可能です。

施設紹介

Facility Introduction

医療設備

11室の手術室、8床の集中治療室、12床の脳卒中ケアユニット、多列CT3台、3テスラMRI、1.5テスラMRI、放射線治療設備など、充実した設備、医療機器を研修医教育にも活用。様々な知見に基づく指導が受けられます。



高度先端医療

2016年2月に手術支援ロボットda Vinci Xi(ダビンチ)システムを前立腺がんに導入し、以後腎臓がん、膀胱がんにも適用範囲を拡大し、さらに2018年7月に福井県で初となる胃がん、10月には直腸がんに対するロボット支援下手術を行いました。それ以降も肝がん、肺がんとロボット支援手術の対象疾患を拡大しています。導入して以来これまでに約1,050件を実施、豊富な経験を積んだエキスパート医師が指導に当たります。



スキルラボ

シミュレータなどが多数整備されています。シミュレータを使った練習を繰り返し、効果的に臨床技能を習得することができます。



図書室

休日も利用できる図書室には、電子ジャーナルや医学関連雑誌が充実しており、文献の検索や国内外の図書の取り寄せも可能です。



研修医室

研修医の皆さんのコミュニケーションの場となる研修医室は3室あり、一人ひとりのデスクがあります。1年目と2年目の研修医専用の部屋のため、お互いに相談しやすい環境です。



職員寮

病院から徒歩5分と15分の場所に職員寮があり、月額22,000円で利用が可能です。県外の方も住まいの心配をせずに、すぐに研修を始めることができます。



勉強会

Lecture

各種講義・検討会

研修医が救急外来で経験した症例について、主訴や所見から考えられる鑑別疾患を挙げていく、推論形式の検討会を開催しています。指導医からマネジメントに関するフィードバックがあり、内科診断学の考え方やcommon diseaseへの標準的な初期対応を学べるので、次回の当直研修に活かされます。

毎月2回の救急関連の勉強会をはじめ、指導医による各種講義が数多く開催されます。

他にも研修医の総合的な臨床能力を深めるため、上級医や多職種が参加する症例検討会を毎月1回開催しています。当院では、研修医のニーズに合わせた多様な研修・学習環境を提供し、実践から専門的な内容の講義まで、優れた指導医がサポートします。

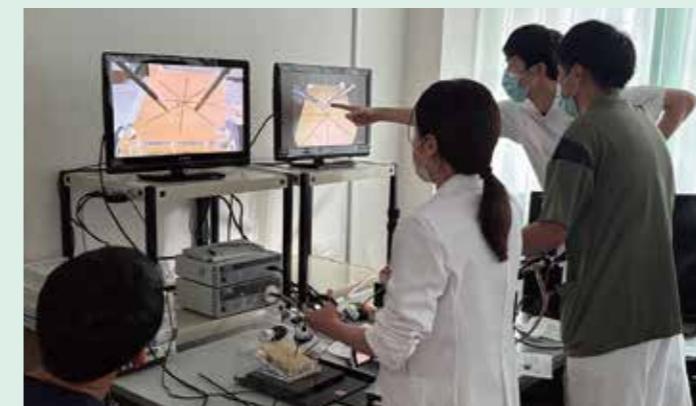


【各種講義・検討会一覧】

月	テーマ
4月	小児虐待
5月	縫合レクチャー
6月	エコーレクチャー
7月	心電図の読み方(不整脈の診断と急性期治療)
8月	内視鏡縫合レクチャー
9月	がん緩和ケア研修会
10月	症例発表・スライド作成
11月	全国赤十字病院研修医研修会
12月	救急外来で遭遇する症例 骨折・固定法
1月	胸部単純X線写真読影の基礎
2月	脳血管障害の初期対応
3月	産婦人科領域での救急対応
年2回	Rapid Response System起動事例検討会
年4回	抗菌薬適正使用支援チーム研修
年5回	臨床病理検討会
毎月	救急科勉強会、研修医症例検討会、臨床倫理、腫瘍内科領域全般

縫合レクチャー

外科の専門医を持った指導者から、縫合・結紉といった実技指導があります。また、内視鏡外科手術のシミュレーターを用いて、いつでも自由にトレーニングを行える研修室もあります。



エコーレクチャー

放射線科医と超音波検査士に認定された技師による、研修医のためのエコーレクチャーです。実際の画像を見ながらレクチャーを受けます。



症例発表会

研修医が経験した症例について、学会同様に発表を行います。発表後も症例について積極的に議論がなされ、質問も飛び交います。実戦ながらの症例発表が経験できます。



救急蘇生講習会

当院ではAHA(アメリカ心臓協会)認定のBLSやACLS講習会、日本救急医学会認定のICLS講習会、日本内科学会JMECCなどの各種講習会を院内インストラクターの指導のもとで受講することができます。受講料の補助制度もあります。



そうだから選んだ。

心にゆとりを持ち、前向きな気持ちで働くよう職場環境の充実を図っています。

待遇

Working Conditions

給与	1年目 365,000円／月額 2年目 385,000円／月額	当直	月に4回の当直(日直・宿直)を予定 【日直】上級医のもとで8時30分から17時00分まで 【宿直】上級医のもとで17時00分から翌8時30分まで
賞与	1年目 400,000円／年※予定額 2年目 600,000円／年※予定額	社会保険	健康保険、厚生年金、労災保険、雇用保険
各種手当	時間外手当、当直手当、通勤手当、 住居手当(上限28,500円 ※職員寮利用を除く)	医師賠償責任保険	団体保険は病院で加入 ※個人保険の加入は任意
職員寮	徒歩圏内に2棟あり 全51室(月額22,000円) ※裏面参照	その他	研修医専用医局、専用机あり 学会、研究会への参加可(規則により旅費を支給) 院友会(職員互助会) ●運動部(野球・マラソン・バレー・ボーリング・テニス・フットサル・バスケットボール・卓球) ●文化部(写真部・囲碁部・映画・観劇鑑賞補助) ●職員旅行(日帰り～2泊3日) 職員用食堂 医局親睦会あり
勤務時間	8時30分～17時00分		
休暇	土・日・祝日、及び 日本赤十字社創立記念日(5月1日)、 年末年始(12月29日～1月3日)、 年次有給休暇、 特別有給休暇(結婚、忌服等)、 他、研修日3日間あり		

職場環境

Work Environment



職員食堂



院内保育所(夜間保育もあります)



職員旅行



カフェ



コンビニエンスストア



部活動

Q & A

● 初期研修 Q & A

Q. 当直のしきみについて教えてください。

A. 当院の当直体制は研修医をしっかりとサポートできるよう、内科系と外科系医師が1名ずつ当直しています。研修医はその医師のもとで当直に入ります。基本的に初期対応は研修医が行いますので、主体的に診断、治療を経験できます。各診療科のオンコール体制となっていますので、専門医に緊急のコンサルティングがしやすい環境です。受け持った患者さんの診察や救急対応、入院・帰宅の判断については、その場で当直担当医師からの指導を受けています。こうした経験を重ねることで医師としての対応能力が着実に向上します。

Q. 学会参加の支援はありますか?

A. 参加の場合、年に1回2泊3日の旅費支給制度があります。なお、発表する場合は回数制限はありませんので、費用の心配は不要です。また、毎年開催される日本赤十字社医学会総会での発表を支援しており、令和7年度は埼玉で開催され、当院研修医がポスター発表やチーム対抗研修医症例検討会に参加しました。当院では日本赤十字社のスケールメリットを活かした経験が積めます。



Q. 多職種との交流はありますか?

A. 入職3か月間の振り返り研修として、例年7月に多職種合同の新採用職員研修を開催しています。令和7年度は総勢70名が参加しました。グループワークでは「私はこんな医療人になりたい」をテーマにそれぞれの考え方や想いを話し合います。チーム医療の重要性や各専門職の役割の共通理解を深め、職種を超えたコミュニケーション力と人間関係の構築を目指します。年度末にも合同研修会があり、定期的に交流の場を設けています。



Q. 研修期間中の忙しさや休暇の取りやすさ、研修医同士の雰囲気について教えてください。

A. 当院の研修は、仕事と私生活のバランスを保ちながら質の高い医療教育を受けられるよう設計されています。有給休暇も計画的に取得できるので、しっかりリフレッシュできます。さまざまな大学出身者が集まり、研修医同士は和気あいあいとした雰囲気です。終業後には食事に行ったり、休日に旅行や趣味を楽しんだりする研修医も多くいます。オン・オフをしっかり切り替えながら、充実した研修生活を送っています。



Q. おすすめの場所を教えてください。

A. 当院には「さくら」という職員食堂があります。栄養を考えて作られている日替わりの定食やサラダバー、ボリューム満点の各種丼メニュー、カレーなど様々な食事が楽しめます。また、タリーズコーヒーでも、ほっと一息できる憩いタイムを過ごせます。晴れた日の屋上庭園は、爽やかな風がとても気持ちよく、確かに人気です。

